

韓国農林畜産食品部 2020. 10. 10 10:59:47 プレスリリース

ASF 防疫推進状況

-発生地域の集中消毒、予察・精密検査、疫学調査、現場点検などを実施-

<https://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE8JTJGYmJzJTJGbWFmcmEIMkY20CUyRjMyNDg3NyUyRmFydGNsVmlldy5kbyUzRnJnc0VuZGRlU3RyJTNEJTI2YmJzT3BlbldyZFNlcSUzRCUyNnBhZ2UIM0QxJTl2cm93JTNEMTAIMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnJnc0JnbnRlU3RyJTNEJTI2YmJzQ2xTZXEIM0QIMjZzcmNoQ29sdW1uJTNEJTI2aXNwaWV3TWluZSUzRGZhbHNIJTI2c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D>

□ASF 中央事故収拾本部(本部長キム・ヒョンス、以下‘本部’)は、10月9日に江原道(カンウォンド)華川(ファチョン)所在の養豚農家の飼育豚で ASF が発生したこと受け、迅速かつ徹底的な初動防疫を実施中である。

□本部は 943 台の消毒装備(広域防除器・消毒車・軍提督車など)を導入し、全国の養豚農家 6066 戸に対する一斉消毒を実施した。

○特に今回の ASF 発生農場が位置する江原道(カンウォンド)華川郡(ファチョンゲン)に対しては 11 台の消毒装備(広域防除器 2 台、消毒車 5 台、軍提督車 5 台)を緊急導入*し、発生農場と周辺連結道路を集中消毒した。

*発生前から消毒のために運営中の 6 台(地方自治体消毒車 1 台、農協消毒車 2 台、検疫本部消毒車 1 台、農協広域防除器 1 台、軍提督車 1 台)に 5 台(農協広域防除器 1 台、軍提督車 4 台)を追加

○最近 1 ヶ月間華川郡(ファチョンゲン)内の通行量を分析し、畜産車両の通行が多い 4 道(約 20km)に対する消毒も実施した。

□10月9日、京畿・江原北部および隣接する 14 市郡の養豚農家 375 戸に対して電話予察を実施した結果、ASF 疑い等特異事項は発見されなかった。

○養豚農家 375 戸から豚の血液試料を採取・精密検査を実施しており、現在までに 167 戸の試料採取を完了*(10月9日 24:00 時点)している。

*10月11日までに対象農家の血液試料採取を完了させる予定

-家畜防疫官による血液試料採取の過程で行われた臨床観察においても異常は発見されなかった。

○また‘GPS 畜産車両統合管制システム’を活用し、発生農場と屠殺場を訪問した畜産車両が出入りした他の養豚農家を確認し、飼育豚予察を実施した結果、異常は発見されなかった。

□本部は華川郡(ファチョンゲン)養豚農家の防疫強化のために統制警戒所を追加で設置・運営することにした。

○江原道(カンウォンド)内主要道路に拠点消毒施設を追加設置・運営して畜産車両などに対する消毒を強化することにした。

□また、本部は 10月10日、危険度が高い野生イノシシ防疫帯(陽性個体発見地点から 10km)内の養

機械翻訳等に基づく仮訳

豚農家を対象に緊急現場点検を実施する。

○農食品部職員で構成された 18 組の現場点検班は農場入口の車両消毒施設、フェンスなど消毒・防疫施設の設置・作動の有無、畜舎出入口など生石灰塗布の有無など農場防疫履行状態を点検する計画である。